

在職者訓練 事業主等・受講生の方の声

山科精器株式会社
大日社長



もともと当社は京都の山科にありましたが、ここ栗東市に本社及び本社工場を約30年前に移し、発電プラント・船舶向熱交換器や船舶用ディーゼルエンジンのシリンダ注油機、機械加工の工作機械等の設計製造、そして強化プラスチック(FRP)の成形を行っています。

ここ数年、滋賀センターの離職者訓練の修了生を採用し入社してもらっていますが、製造現場で必要な基本的な技能や技術について学ばれた方もおられるし、年齢からくるものと思いますが人間として基本的な考え方がしっかりしておられると、新しい仕事をさせても応用力が良く、飲み込みも早いと評価いたしております。

また、わが社の在職者の教育に関しては、先輩のベテラン社員が若手に対し指導する方法いわゆる OJT が中心になっていますが、どうしても仕事の合間に教えることが多いので、滋賀センターさんの『在職者訓練』を利用させてもらっていますが、丁寧に技術を指導頂き、大変満足しております。

最後に、現在私は「滋賀職業能力開発振興協議会」の初代会長をさせてもらっています、せっかく環境立県を進めている滋賀県内で我々企業と雇用・能力開発機構とが一緒になってやるので、「環境技術論」と言うような講座を新たに設けて頂いて、滋賀ならではの職業能力開発テーマを全国に先駆けて、是非訓練に取り入れてもらいたいですね。再教育の場として機構の教育訓練施設や教職員は地域に不可欠やと思って応援しておりますのでがんばってください。

山科精器株式会社
油機事業部 資材課 佃 英彦 様



私の前職は運送業についていましたが「ものづくり」に興味を持ち、仕事を一度離れた後、滋賀センターにおいて離職者訓練の「CAD/CAM 技術科」を受講し、山科精器へ再就職をして3年の月日が経過しました。現在では社内において資材管理や加工品の寸法検査そして調達における値段交渉などを行っております。今の仕事は業務内容が非常に幅広く、専門性よりも総合性が問われるので、離職の際に思い切って受講してよかったと思っております。

このたび、加工とコストの兼ね合い等を知る目的で、「切削加工の理論と実際」のセミナーを受講しました。そこで、加工条件と精度・加工時間等の関わり合いを考究するような内容だったので、大日社長がよくいわれている、値段交渉の際に必要なとされるコストに対する意識がより強くなりました。今後は専門的な技能向上も視野に入れ、他の講座なども受講して自己研鑽を図りたいと思います。

先生方には健康に気をつけて、今後もよい人をつくって下さい。